

立川市手をつなぐ親の会 設立 60 周年記念講演会

～障害が重度であっても、高齢になっても、親なき後も住み慣れた地域で幸せに暮らすために～

相談支援から地域生活支援拠点を考える

障害があっても住み慣れた地域でその子らしく、穏やかに生涯暮らしてほしい…親の子どもに対する共通の願いであり想いです。その実現に向けて地域生活支援拠点等に期待が込められます。

親が緊急の時はどうするの？5080 世帯の問題、引きこもり…など、様々な問題に対して、拠点の5つの機能(相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり)を整備し実践力のある地域体制に向けて、相談支援を中心に福岡氏にわかりやすく楽しいお話を伺いながら、共に考えていきましょう。

講師 福岡 寿氏



福岡寿 (ふくおか ひさし)氏プロフィール

東京大学文学部卒業後、金八先生にあこがれて中学校教師になるも、4年で挫折。その後、知的障害者施設指導員、北信圏域障害者生活支援センター所長、社会福祉法人高水福祉会常務理事を経て、平成 27 年退職。長野県自立支援協議会会長等を経て、現在は「日本相談支援専門員協会」顧問の他、厚労省の障害支援区分管理事業検討会座長。また、長野県が田中康夫県政の頃、大規模コロニーの地域生活移行の取り組みのため、5年間県庁に在籍。その関係もあり、現在、神奈川県「当事者目線の障がい福祉に係る将来展望検討委員会」にも委員として関わる。

著書に、「施設と地域のあいだで考えた」(ぶどう社)「相談支援の実践力」(中央法規) 「気になる子の『できる!』を引き出すクラスづくり」(中央法規)

日時 令和 5 年 10 月 18 日(水) 10:00~12:30 (9:40受付開始)

場所 立川市女性総合センターアイム 1 階ホール(立川市曙町 2 丁目一36-2)

参加費 無料

定員 100 名(申し込み順)

申込み 締切 10 月 17 日(火)

下記のメール宛に氏名、所属、当日連絡可能な電話番号を書いてお申し込みください。

tachikawaoyanokai@gmail.com

【主催】立川市手をつなぐ親の会

【後援】立川市/立川市社会福祉協議会予定